集計結果

資 料 2

学校跡地施設等利用案アイデア開発ワークシート
佐久穂町学校跡地施設等利用検討委員会
平成24年11月29日

佐久穂町戦略（案）

1. 目標	「朝8時の太陽のように若若しく輝く町」 （量的目標）：佐久穂町の20年後を展望し、人口増加を目指す。その結果、少なくとも人口減少や高齢化のペースが抑制される事で集落やコミュニティーを維持する。 （質的目標）：歴史的な「健康管理事業」に加え、「アウトドア活動（スポーツ、農を含むライフ）」等の事業が盛んで、若者や子育て世代等すべての人がイキイキと暮らし国内外から注目される町になる。
2. 方法	町の強みや魅力を活かし、人口増加につながる「子育て世代」や比較的若年の生産年齢人口の流入促進、及び流出防止に注力する。 その為に、住みやすい町づくりを推進し、企業や事業の誘致や起業を促進する。特に、戦略関連ビジネスとの連携や、「ICT（情報通信技術）」や「宅配」を活用しエンドユーザーと直接取引を行う「スモールビジネス」の流入・起業を重視する。（戦略対象ビジネス分野は下欄）
3. 対象	主要な対象は、「健康管理事業」、「アウトドア活動（スポーツ、農を含むライフ」、「スポーツ医療、フィットネス、コンディショニング」、「農林漁業、加工食品の生産や販売」、「観光」といった町の強みや魅力を活かせる事業領域。

【重点施策】の優先順位（案）

【重要施策】	優先順位	理由
◆教育文化	1	社会にとって、いかなる時も「教育、文化」（スポーツや娯楽も含む）が最重要。生活の質を高め、ひいては人口流入を促し産業の基盤ともなる。
◆産業振興	2	「町の目標」実現の為に「産業振興」は現時点で優先されるべき施策。戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1に優先されるべき。
◆保健医療福祉	3	「保健医療福祉」については、【町の強み】として一層磨きをかける事が必要。戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1～2に優先されるべき。
◆都市基盤 生活環境 住民と行政の協働	4	「都市基盤」や「生活環境」は現時点で相対的にニーズが満たされている。但し、戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1～3に優先されるべき。

【事業カテゴリー】と利用案の優先順位（案）

	順位		活用案
佐久東小学校	1	11	児童養護施設 小規模グループケア
	2	5	県外移住促進多目的事業基地
	3	3	自然体験等交流施設
		7	佐久穂「里山迎賓館」の開設
佐久西小学校	1	34	佐久穂町新庁舎
	2	28	情報発信基地
		35	総合防災センター
	3	24	通信学校等への貸し出し利用
佐久中央小学校	1	16	学童クラブ 児童館 進学塾・学習塾
	2	22	分譲住宅
	3	15	原発被災移住者用就業施設
		18	さくほ中央Kidsクラブ（世代間交流型）
八千穂小学校	1	40	借地返還
	2	42	原発被災者限定移住用宅地開発
	3	37	民間企業誘致
		50	憩いの森公園
八千穂中学校	1	47	しらかば体育館の駐車場
	2	44	特産品加工施設
	3	46	道の駅「佐久穂」開設及び産業振興会館開設 等
		48	白樺ボールパーク
八千穂小学校 八千穂中学校	1	48	白樺ボールパーク
	2	50	憩いの森公園
	3	46	道の駅「佐久穂」開設及び産業振興会館開設 等

1

教育	学校教育、共育	
教育や共育は社会にとって最重要事業。小中一貫教育は町の最重要施策。		

2

産業	事業誘致、起業支援	
戦略上非常に重要な事業。大企業の誘致も望ましいが撤収リスクもあり、スモールビジネスの着実性を重視すべき。		
中3位	15	原発被災移住者用就業施設
西3位	24	通信学校等への貸し出し利用
八小3位	37	民間企業誘致
八中2位	44	特産品加工施設
八中3位	46	道の駅「佐久穂」開設及び産業振興会館開設
小中3位	46	道の駅「佐久穂」開設及び産業振興会館開設

3

産業	観光、アウトドア、情報発信	
観光はスポットではあるが外から人を流入させる。特に、アウトドア活動は戦略上重要。人々のイキイキとした暮らしにも資する。		
東2位	5	県外移住促進多目的事業基地
東3位	3	自然体験等交流施設
東3位	7	佐久穂「里山迎賓館」の開設
西2位	28	情報発信基地

4

教育	生涯学習、スポーツ文化活動	
アウトドア活動は、戦略上非常に重要。人々のイキイキとした暮らしにも資する。		
八中1位	47	しらかば体育館の駐車場
八中3位	48	白樺ボールパーク
小中1位	48	白樺ボールパーク

保健	保育、学童保育、校外の学び	
子育て世代の流入を促進するとする戦略上重要。単なる学童保育ではなく、学校では得られない学びの機会が重要。		
中1位	16	学童クラブ、児童館、進学塾・学習塾
中3位	18	さくほ中央Kidsクラブ

5

産業	特産品、農商工
特産品は、町のブランドを伝達し、外貨を獲得する。遊休農耕地が減る等人々のイキイキとした暮らしにも資する	

保健	保健、予防、医療
健康管理事業という歴史的な強みを磨き、更にアウトドア活動と連携し予防やイキイキとした暮らしに重要。	

6

都市	役場（町の拠点）	
町の拠点。耐震性等の課題は重要。役場機能が２ヵ所に分散していること現状は不便		
西1位	34	佐久穂町新庁舎
西2位	35	総合防災センター

7

教育	文化財
モノの収蔵だけでなく活用が重要。更に文化財として、建築物も保存、活用を図るべき。	

保健	高齢者、障害者福祉	
事業の重要性は言うまでもないが、戦略からの一貫性からこれより上位には位置づけない。		
東1位	11	児童養護施設 小規模グループケア

都市	公園、広場、防災	
防災減災は行政重要事項。一次避難場所は公民館や学校だが、統合校までの距離は遠い		
八小3位	50	憩いの森公園
小中2位	50	憩いの森公園

8

都市	交流、コミュニティ
地域内外交流は重要だが、ソフトの重要性が高く、ハード面でのニーズはあまり高くない	

他

都市	新エネルギー
社会的意義は高いが既に民間企業参入の段階。行政の事業としては優先度低い。	

都市	公営住宅、宅地	
人口減少を前に重要性は低い。教職員住宅や民間アパートの活用が先。		
中2位	22	分譲住宅
八小2位	42	原発被災者限定移住用宅地開発

その他		
八小1位	40	借地返還